

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	タイラント	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：TYRANT

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：SWERVE GT

フレアーの幅 インチ

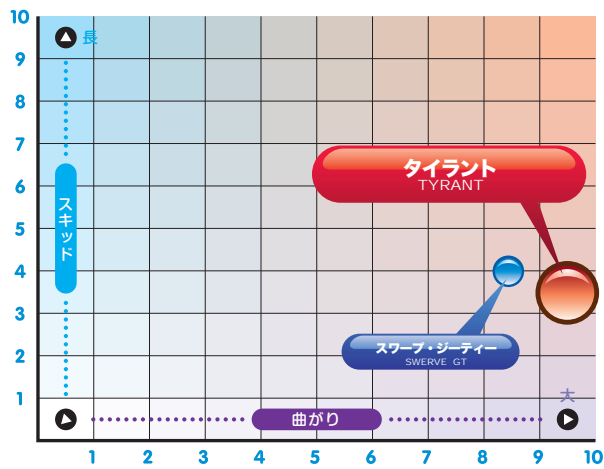
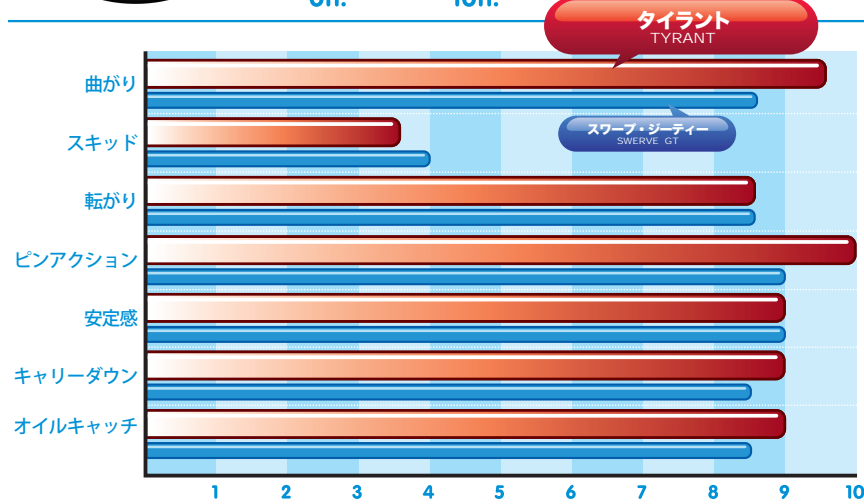
PAPからピンとの距離 **4in1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

特許申請が行われている Columbia300 の HYPER SHOCK TECHNOLOGY、すでにご存じのとおりピンアクションを飛躍的に向上させ、ストライク率を UP させるのと同時に ”本当に良く飛ぶ” と実感できる Technology です。この Technology だけでもかなり他社の追従を許さぬものですが、今回新たな新技術のボールが発表されることになりました。それがこの TYRANT に組み込まれている ”DOUBLE HYPER SHOCK TECHNOLOGY” です。HYPER SHOCK TECHNOLOGY とは Columbia300 独自の技術で、インナーシェルに増強剤を組み込んで衝撃吸収をさせるものですが、その技術をアウターシェルにまで盛り込む事でさらに次元の違うピンアクションが得られる、ボウラーにはピンアクションにはこれ以上何を望むと言っても良いほど、その効力に驚きを隠せないほど革新的なものに仕上がっています。私がこの TYRANT をテストし他社と比較した印象は、まず Columbia300 史上最大の曲がるボールになっているということ。それはアウターシェルに SHOCK TECHNOLOGY の増強剤を加えることで表面の凹凸 (吸着ラバー) に変化を起こし、より Flexible になったことでキャッチが数段上がり、曲りというポテンシャルが増えたと言えるでしょう。前作の SWERVE GT と比べても遥かにオイルに強く、奥の動きもキレを感じるほど別次元の HP (High Performance) に仕上がっています。この CoverStock 開発と同時に進められた New Core の ”Tyrant” は今回の CoverStock との相互性を取られていて、Mid Lane までの動きは CoverStock のキャッチを中心として、Backend は△RG の高いこの Core ネジれる、非常にキャッチと曲りとキレのバランスが今までにない高いレベルで仕上げられているボールだと思います。それにピンアクションは驚く程薄めに強く、もはやジャストのポケットヒットに合わせなくても良いぐらいのイメージさえ持ったぐらいです。吉田樹式亜プロがこのボールを使いボウルモデルノ東根さくらんぼオープンで優勝した経緯もあり、発売前からかなり注目度の高いボールです。

特記事項

Columbia300の最新Technology”DOUBLE HYPER SHOCK TECHNOLOGY”で次元の違うピンアクションを実現します。キャッチと同時にHP領域で曲りとピンアクションを求める方は、このボールを是非お試しください。